

魚沼基幹病院 倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	放射線治療の線量分布検証における DoseScope の有用性の検討
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
対象者 : 2025年5月から 2030年5月の期間に、魚沼基幹病院で高精度放射線治療を受けた患者様の放射線治療計画および線量分布測定データ	
③概要	<p>私たちは上記期間において作成された放射線治療計画および線量分布測定データを使用させていただきます。高精度放射線治療では臨床開始前に線量検証を実施し、治療計画装置上の線量分布と実際に照射される線量分布が一致するか確認が必要です。</p> <p>当院では、ガフクロミックフィルムおよび解析ソフトウェアを用いて線量分布検証を行っています。照射後の濃度上昇のため測定後の解析までに数時間が必要です。</p> <p>2025年1月に導入されたシンチレーション式線量分布測定器DoseScopeはフィルムに近い解像度があること、測定結果に時間を必要としないこと、繰り返しの使用が可能であることから有用であると考えられます。今後の検証において、DoseScopeに移行することにより、業務の効率化およびランニングコストの削減が可能です。</p> <p>線量分布の解析ソフトには様々な種類があり、特に空間分解能、データ補間および正規化の違いにより、同じデータを使用しても解析結果は大きく影響されます。本研究の目的は、治療計画とフィルムおよび DoseScope で測定した線量分布を比較し、検証結果が同等かを明らかにすることです。</p>
③ 申請番号	E2025001301
⑤研究の目的・意義	本研究の目的は、治療計画とガフクロミックフィルムおよび DoseScope で測定した線量分布を比較し、測定結果が同等かを明らかにすることです。線量分布の検証方法をフィルムから DoseScope へ移行することにより、線量検証に必要な時間が短縮され、業務の効率化、治療開始期間の短縮が期待されます。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2030年5月30日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	療計画およびガフクロミックフィルム、DoseScope の線量分布データを利用します。利用するデータは個人が特定されないように、個人情報を削除(匿名化)します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	性別、年齢、放射線治療計画およびガフクロミックフィルム、DoseScope の線量分布測定データ
⑨利用の範囲	魚沼基幹病院 放射線技術科、放射線治療科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	魚沼基幹病院 放射線技術科 科長(治療部門) 高頭 浩正
⑪お問い合わせ先	魚沼基幹病院 放射線技術科 診療放射線技師 井関 章博 Tel: 025-777-3200 内線: 2191 E-mail: radiology@ncmi.or.jp